

遠藤ひろしのめざすまちづくり



まちづくり

町民が主体となって活動できる町民主体のまちづくり、歴史に学ぶまちづくり、特色あるまちづくりを推進します。

産業振興

農業を中心とした第一次産業の振興、地場産業の活性化、商店街の活性化、観光振興を推進します。

道路整備

水路やひやを活かした拠点整備、街並み景観形成、防災などの観点から狭い道路、文教通り拡張を推進します。

安心・安全

事件に対する対応はもとより、事故や災害から身を守る環境整備と取り組みを推進します。

人口対策

子育て環境整備、団地の世代の動向、外国人などにも視野を広げた取り組みを推進します。

教育と文化

子どもの成長に大いなる家庭教育充実、基礎学力向上、教育環境整備に取り組み、歴史と文化の継承を推進します。



福祉と環境

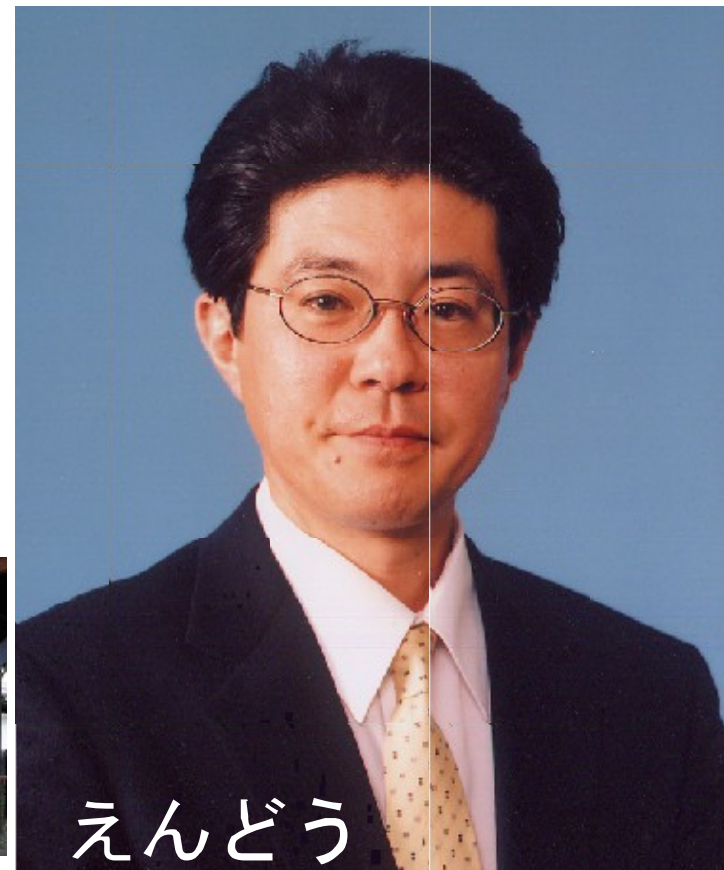
高齢者が維持できるよう見守り、高齢者の健康増進、サロンや支援センターを活用した在宅福祉の充実を推進します。

病院と医療

救急病院など山間部における医療体制の確立をめざし、地域をまもる医療整備を推進します。

行財政改革

職員見直し計画、民間活力の導入、事業評価制度などを推進します。



えんどう 遠藤ひろし

KOYUKAI

遠藤ひろし後援会 诹友会

事務所 市川三郷町市川大門1274番地
TEL 055-272-0153

自宅 市川三郷町市川大門1274番地
TEL 055-272-0330

ホームページ <http://www.cnyo.co.jp/koyukai>

一般質問おもな内容

市川大門町

平成15年

- ・町民所得向上の施策
- ・誇れる『おみやげ』

平成16年

- ・市川中大規模改修と耐震強化
- ・市川小体育館改築
- ・地元企業の経営力強化を期す支援策
- ・狭あい道路拡幅と老朽化するブロック塀
- ・団塊の世代の動向を察知したまちづくり
- ・子どもの事件に対する安全対策



平成17年

- ・教育の基本計画に学方向上を
- ・競争心を培わせる教育
- ・声かけ・あいさつ運動の奨励

市川三郷町

平成17年

- ・富士見団地建て替えに伴う通学路整備
- ・放課後学習を安価に提供すべき
- ・農業振興のため、企業参入と優良農地保全
- ・行政改革に職員の減員計画^{※1}、PFI^{※2}、指定等考者制度、評任制度

平成18年

- ・アジア圏への商品進出、人材誘致に力向け
- ・都市計画道路の進捗と文教通りの拡幅は
- ・家庭教育充実のため支援体制と仕組みづくり
- ・^{※3}CAP学習会は機会の拡大を図るべき
- ・消防団の待遇改善やイメージアップが必要

※1 PFI：民間の活力を用いて行政サービスを提供する手法
 ※2 CAP学習会：子どもの暴力防止プログラム

平成16年6月 CAP学習会開始

- ・子どもへの事件、いじめや児童虐待などに効果があります。

平成17年4月 狭あい道路拡幅整備事業

- ・後退部への助成金支給制度で、ブロック塀撤去なども対象になります。

平成17年7月 防災無線で下校の呼び掛け開始

- ・住民への周知と犯罪の未然防止に効果があります。

平成17年8月 市川中耐震補強工事実施

平成18年2月 文教通り拡幅合意形成

- ・昭和31年からの計画です。防災面、利便性などで重要な事業です。

平成18年6月 指定管理者制度導入の条例改正

- ・行政のサービスの向上とスリム化、企業の参入が期待されます。

平成18年8月 市川中大規模改修



地場産品展示活性化施設（平成19年まで）

- ・中央町地域総合整備事業での活性化施設です。

富士見地区通学路拡幅（平成21年まで）

- ・富士見地区からカルバートまでの歩道整備です。

市川小体育館改築事業（平成22年まで）

- ・体育館としての機能と災害時の活用性が必要です。

※3 カルバート：バイパスを横断する歩行者専用トンネル道路



遠藤ひろしのあゆみ

昭和37年1月 市川三郷町市川大門生まれ
 15歳 会社役員（父母、妻下の8人家族）
 昭和55年市川高校卒業、昭和59年日本大学卒業

- 平成15年4月 IF市川大門町議会議員初当選
- 平成17年3月 IF市川大門町十六区経済宮任委員長
- 平成17年10月 市川三郷町議会議員（在任特効）
- 平成17年10月 市川三郷町議会広報編集特別委員長
- 平成17年12月 止梨泉町村議会広報研究会会長

